

## 令和5年度方針と事業計画

安全で安心できる生活の営みを大事にします。  
子どもにとって良いこととは何かを考えて、活動をします。

昨年度に地域分散化・小規模化のホームを建設するため土地の購入を行いました。

本年度建設計画を提出し、令和6年度の建設着手をめざします。

フォスタリング機関（第2種社会福祉事業予定）の開設を目指し、児童家庭支援センターと一体となって里親支援・拡大を目指します。

施設建設に併せて、本園のホームをフォスタリング機関として使用できないか検討を開始します。

児童家庭支援センターは、現状では追いつかないかと思うほど相談が増加し、アウトリーチによる家族と子どもの困難な状況に対応しています。児童相談所の活動と私たちの思いがすれ違うこともあり、子ども基本法にいうように実施的な連携が求められています。今後、ねばり強く児童相談所との協力を進めながら子どもの幸せのために活動を強化します。

障がいを持つ子ども達への支援準備に取りかかりましたが、職員体制の問題もありもっと広く「全ての子どもの自立支援」を目指して活動することにします。

子ども達にはやっと取り戻しつつある日常を大事にしながら丁寧な関わりを進め、安心して安全な生活とおいしい食事を更に準備していきます。

3年ほど我慢してきた外出でしたが、本年度中に全員で県外旅行と遊びを実施したいと思います。

これまでどおり地域子育て支援に向けて職員の専門性を強化しながら、子ども達にとって最もよいこととは何かを考え活動していきたいと思っています。